大阪府医師協同組合事業所内保育施設

アポロンキッズうえまち保育園

2024 年度　事業報告書

大洋薬品大阪販売株式会社

保育事業部

2024年度 アポロンキッズうえまち保育園 事業報告書

1.保育事業報告

開設2年目を迎えた2024年度は、設置主体である大阪府医師協同組合の全面的な支援のもと、保育利用者状況において、開設後初めて19名の定員を満たすことができた。コロナへの対応が広く求められる中で、企業などの産休・育休制度が充実し、0歳児は家庭でという社会的な風潮が一般的となった。本園では、大阪府医師協同組合の事業所内保育施設としての保護者ニーズに応えその使命を果たすべく、0歳児の定員を減らさず、0・1歳児6名、2歳児7名を維持する中での定員充足である。また、在園児のほとんどは標準時間利用であり、長時間保育となっていることからも、事業所内保育施設の役割とともに重要である地域の皆様への保育の場としても、保護者ニーズに貢献できているのではないかと判断する。

全体の利用者数は年度より約10%増加している。利用動向を注視しつつ、保育士配置を検討する中で、長時間保育を念頭においた環境整備や、育児家庭支援の更なる充実が重要と考える。

何よりも大切な「安心・安全」を設備面からも年次計画で整備すべく、AED（自動体外式除細動器）と防犯カメラ（玄関前）を設置した。前者は大阪府医師協同組合の備品として、後者は公的な助成金を活用しての整備とした。大阪市消防局が実施する普通救命講習3（乳幼児に特化したAED の使い方を含む心肺蘇生法）を、大阪府医師協同組合の皆様方を含めて受講し、水遊び時に危険度の高い”厳重警戒”と”危険”（暑さ指数）、警戒（乾燥指数）のレベル検査機を導入した。また、運営主体である大洋薬品大阪販売保育事業部が運営していた小規模保育園の廃園に伴う防災用非常食類や防災用品を移管して既有の物品類を充実させることで、この面からも「安心・安全」を進めることができた。今後とも各種の助成金を最大限に活用する中で、保育の質をさらに高める努力を惜しまず、子どもたちの育つ環境をさらに良いものにしていく所存である。

2.保育内容

開設初年度はコロナ禍による感染防止対応による活動や行事の一部制限が加えられたものの、保育士を含む職員のマスク着用は継続しつつも子どもたちにとって本来あるべき計画を立案し、日々の保育を円滑に進めることができた。特に、開設2年目でありながらも、他園での豊富な経験を有する人材によるチーム保育を推進し、充実した本園ならではの保育を展開することができた。

保育理念「みんなちがってみんないい」に賛同する各職員により、公立保育所や中・大規模私立保育園の良さを小規模園に集約させ、個別対応を生かした保育実践を推し進めた。さらに、手作りおもちゃを数多く取り入れることや、体系的な運動あそびを日々実践するなど、小規模保育園の弱点を強みに変えるチーム保育の雰囲気を醸造できた1年であったことは、大きな成果である。

外部講師による体操を中止し、鉄棒やアスレチックソフトブロックの導入により、普段の保育の中で運動あそびをふんだんに取り入れることができたことはその一例である。土の付いた野菜を手にしたり、鰹節から自分たちでふりかけを作ってみたりする食育を毎月実施するなど、自ら進んでより良き食習慣への興味や関心を育てる点に重きを置くことで、食育指導も推進した。

また、英語・リトミック・ヨガ・手型足型アート・習字といった専門講師のレッスンは、本園の最大の特長のひとつである。これらの時間に保育士が積極的に関与し、日々の活動と連携させる方針を新たに打ち出した。これにより、2歳児クラスで子どもたちの活動への意欲が増し、日々の子どもたちの生活への意欲が増し、大きな相乗効果を得ることができた。9月の敬老会では、地域のお年寄りに習字のレッスンに続いて作品づくりを続け、有意義な交流ができたことも、その成果の一端である。

防災面ではマニュアル面からのゼロベースでの見直し充実を目指して全面改訂し、Hoic（教育ICT ツール）を活用した園児引き取り訓練を実施するなど毎月の防災訓練に生かした。親子遠足や保育参観時にも園児と共に保護者が参加できる場面を設定し、保護者層への啓蒙化に努めた。

3. 保育活動

（1）保育園の運営

・所在地：大阪市中央区上本町西 3 丁目 1 番 7 号 大阪府医師協同組合南館2階

・定員：19名

0歳児クラス…6名　1歳児クラス…6名　2歳児クラス…7名

（2）開所時間

開所時間：午前7時30分から午後7時30分

保育標準時間：午前7時30分から午後6時30分

保育短時間：午前8時30分から午後4時30分

延長保育：短時間/午前7時30分から8時30分　午後4時30分から7時30分

標準時間/午後6時30分から7時30分

（3）休園日

日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

（4）職員配置（2025年3月1日現在）

常勤職員：　6名 園長（1）主任（1）保育士（2）調理士（1）事務員/保育補助（1）

非常勤職員：7名 保育士(5) 保育補助（1）看護師（1）

嘱託職員：　2名 嘱託医（1）嘱託歯科医（1）

（5）延長保育利用者数実績

4月：24人　5月：25人　6月：29人　7月：38人　8月：34人 9月：37人

10月：39人 11月：40人 12月：38人 1月：27人 2月：29人　3月：37人

合計：397人

4. 保護者支援

（1）保育参観・個人懇談

集団保育における子どもの様子を知り、園の保育内容の共通理解を図る目的を持ち実施した。ヨガというツールを使い、親子で向き合い、同じ時間と空間を楽しみながら過ごすことが目標にし、

親子ヨガを6月に実施した。参加した保護者には好評で、身体を動かす楽しみを体験できて良かった、子どもとのふれ合いを見直す機会になった等、多くの好意的な感想が寄せられた。

また、前年度は希望者のみに実施した個人懇談であったが、本年度は2歳児クラスの全員については期間を延長して主任を兼務する担任に園長を加えて対応した。提携園を含めた卒園後の進路を念頭に置いての内容であったが、必要に応じて複数回を重ねることにより、所期の目的を達成したと判断する。

（2）外部機関との連携

中央区子育て支援室より子育てサポーターの定期的な来園指導を仰ぐことができた。開設初年度より同一の寄り添いサポーターにご担当いただく中で、配慮が望ましい子どもへの発達支援の個別計画作成への助言や、保護者支援の具体化についての指導を受け、チーム保育の充実に寄与することができた。

5. 保健衛生

・園児定期健康診断 2 回
・園児定期歯科健診 1 回
・職員健康診断 1 回
（常勤職員・週労働時間 30 時間以上の非常勤職員）
・職員インフルエンザ予防接種の推奨
（常勤職員は全額、非常勤職員は半額の費用負担）
・調理員腸内細菌検査 12 回
・園児身体測定 12 回

6. 防災安全

・避難訓練 12 回
・消火訓練 12 回
・引き取り訓練 1 回
・水害訓練 1回
・通報訓練 6 回
・防災設備等の保守点検
・消防署への協力、報告
・自主点検
・法定点検
・非常用飲料水、食糧の確保、点検、喫食

7. 給食

・午前おやつ、昼食、午後おやつ　　・延長保育時　おやつ（午後6時30分）

8．年間行事

・開設初年度のコロナ禍での人数制限や開催方法の全面的な見直しを行い、本年度は新たな視点で行事計画を策定し実施した。

・年度当初に年間行事予定表を配布し、保育参観や親子遠足、土曜日に実施する行事（運動会・夏祭り）の保護者参加率向上を目指した。

・日々の送り迎えや行事時のマスク着用は任意としつつ、万一の感染症の拡大状況に応じた開催ができるよう、予め計画時に盛り込んだ。

9．年間実施会議

・職員会議　月1回　園長・主任・副主任・保育士・調理士・事務員・看護師・保育補助

・給食会議　月1回　園長・主任・副主任・保育士・調理士・事務員・看護師・保育補助

・マニュアル研修　年1回　園長・主任・副主任・保育士・調理士・事務員・看護師・保育補助

・大阪府医師協同組合打ち合せ会　月1回　事務局長・事務局次長・総務部長・統括長・園長

・大阪府医師協同組合全体会　年1回　保育園全職員・医師協内保育担当全職員

・中央区保育所連絡会　年1回　中央区役所保健福祉課・保健福祉センター・中央区内各園長

10．職員育成

・キャリアアップ研修（乳児保育・保護者支援・子育て支援・マネジメント・食育・アレルギー対応・保健衛生・安全対策・人権擁護等）の計画的受講を進め、予定全研修受講を完了した。

・就学前児保健研修会（大阪府医師会学校医部会が主催）に参加し、大阪市内園医による感染症対応について交流し、大阪府医師協同組合事業所内保育施設として体制強化を図った。

・事務職員が処遇改善等加算開設セミナーを受講し、実務と運用両面から理解を深めた。

・保育や教育の専門的知識習得のための自主的取り組みを含めて研修費用の園負担を実現し、研修を通して保育士としてのスキルアップに努めた。

・オンライン研修も活用しながら、園外研修や講演会への参加を通して、全職員に学びの機会が提供できたと判断する。次年度以降、さらに研修の機会を増やしていきたい。

11．施設整備

・災害時食料、飲料等の備蓄品目類の整備

・保育室用の遮音機能付き床暖カーペット、防音タイルカーペットの導入

・調乳室入口柵の設置

・AED（自動体外式除細動器）と防犯カメラ（玄関前）の設置

・職員用冷凍冷蔵庫、電子レンジ、タブレットおよびPC増設（事務室・給食室・多目的室）

・事務室収納棚類の増設

・玄関インターホンのワイヤレス子機（自動扉の開閉機能付き）増設

以上